

～冷凍コンテナ導入で品質維持と生産効率改善～
有限会社なかみち水産（千葉県山武郡）

背景・課題

主に扱うイワシを主原料とした煮干しやみりん干しは、国内でのニーズが低下している。そこでニーズが増加している海外に向けた輸出量拡大を目指しているものの、海外への輸出を拡大するための保管庫及び冷凍庫が不足しているため、輸出量拡大の機会を逃している。また、既存の輸出前の保管形態では、コストが高くなり、ヒスタミンの増殖や異物混入のリスクがある。

取組のポイント

新規販路開拓として、近年煮干しやみりん干しの需要が増加している北米や東南アジアへの輸出を実現するため、輸出用商品の製造能力や販売の強化に取り組む。
また、輸出用冷凍保管コンテナを導入することで、製品品質の維持と効率的な生産体制に取り組む。

取組の成果

冷凍コンテナの導入により、品質維持と生産効率が改善されたことから、次年度以降、米国HACCP工場認証及び米国や東南アジアへの煮干し・みりん干し商品の本格的な輸出促進を行うこととしている。

プロジェクトフロー

有限会社なかみち水産

販売先を国内から海外に転換しようとするも、既存の方法ではコストや衛生面に問題がある。

輸出用商品の製造能力強化
輸出用冷凍保管コンテナの導入

輸出用冷凍保管コンテナの導入で製品品質が向上

輸出相手国

海外におけるミリン干しの需要は高いが、衛生面の対応が難しい

海外への新規販路開拓

輸出商品のブラッシュアップ

冷凍コンテナ



冷却設備



熱風乾燥機

